

東京証券取引所スタンダード市場上場企業 TANAKEN 株式会社との 業務提携契約締結のお知らせ

マックスエンジニアリング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：新井 規志、以下「当社」）は、TANAKEN株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中尾 安志、以下「TANAKEN」）との間で、土壌汚染調査および土壌汚染対策工事等に関する業務提携契約を締結することを決定しましたので、お知らせいたします。

■ 業務提携の背景と目的

不動産開発や都市再生プロジェクトにおいて、土壌汚染リスクは、事業収益性・融資判断・投資回収計画に直結する重要な経営課題となっています。

特に金融機関・デベロッパーにとっては、「どこまでリスクが見えているか」「コントロール可能か」が投資判断の前提条件となっています。

TANAKENは、上場企業としてのガバナンス体制のもと、解体工事を中心に都市再生分野で長年の実績を有し、地下関連工事・環境改善工事においても高い施工力とプロジェクト遂行力を発揮されてきました。大規模案件や社会的影響の大きい工事においても、安定した品質・工程管理を行える点が市場から評価されていらっしゃいます。

一方、当社は、**コストキャップ保証*1**による調査から対策工事までを見据えた一貫したリスクマネジメント体制を強みとし、事業者が直面する想定外コストやスケジュールリスクの低減に取り組んでまいりました。

本業務提携は、上場企業であるTANAKENの施工力・信用力と、当社の専門的な調査・リスク評価力を組み合わせることで、金融・不動産事業者にとって、より予見性と信頼性の高い土壌汚染対策スキームを構築することを目的としています。

■ 業務提携の内容

1. 土壌汚染調査分野における連携

TANAKENが元請として実施する土壌汚染対策工事案件において、当社が土壌汚染調査および地歴調査を担当します。

あわせて、想定外の追加費用リスクを抑制し、事業計画および融資判断の確度向上に寄与します。

2. 土壌汚染対策工事分野における連携

TANAKENの豊富な施工実績と、当社の調査・設計・リスク評価ノウハウを融合し、コスト管理と技術品質を両立した土壌汚染対策工事を共同で推進します。

これにより、事業者・金融機関双方にとって、透明性が高く、再現性のある環境対策プロジェクトの実現を目指します。

■ 金融機関・デベロッパーへの提供価値

本業務提携により、以下の価値提供が可能となります。

- 土壌汚染リスクの早期把握・定量化
- 想定外コストの発生を抑制するリスクコントロール
- 工期・事業収支の予見性向上
- 調査から施工までを見据えた一貫通貫の意思決定支援
- 上場企業との連携による実行面での信頼性確保

■ 今後の展望

当社は本業務提携を通じて、「土壌汚染リスクを管理可能な事業要素へ転換する」ことをミッションに、金融機関・デベロッパー・事業会社が、より安心して投資判断・事業判断を行える環境づくりに貢献してまいります。

今後も、環境リスクマネジメントの高度化を通じて、持続可能な都市開発および不動産価値の向上に寄与していきます。

【会社概要】

TANAKEN株式会社

所在地：東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング9階

代表者：代表取締役社長 中尾 安志

事業内容：建築構造物の解体工事及びそれに付随する工事の施工及び施工管理

設立：1982年2月

資本金：297,156千円

マックスエンジニアリング株式会社

所在地：東京都港区虎ノ門五丁目3番2号

代表者：代表取締役 新井 規志

事業内容：・土壌・地下水汚染調査およびコンサルティング

・土壌・地下水汚染対策工事

設立：2003年9月

資本金：20,000千円

*1 コストキャップ保証とは、土壌・地下水汚染対策で行われる措置において想定外な汚染等の発覚により工事費用が当初の見積額を超過した場合に、保証によりそのリスクを補填するものです。汚染土量がわからない土地において、契約(決済)前に調査・対策費用を確定でき、早期に取引が可能になります。